



あとがき

木下, 資一

(Citation)

近代, 106

(Issue Date)

2012-03

(Resource Type)

other

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81005477>



あとがき

東北の大震災から一年が経ちました。阪神淡路の震災と比して、復興が遅れているとも聞きます。一日も早い春の到来が待たれます。

この三月末をもって、定年や異動などで同人を抜ける会員が五名おられます。本誌編集を長らく担当されてきた三木原浩先生もそのお一人です。これら同人の皆様は、長い間この同人誌を支えていただいたことに感謝するとともに、今後のご活躍を祈念いたします。一方で青山薫先生が加入されました。健筆を期待します。

今回の執筆者は四名です。昆野先生は同人加入早々の初投稿です。『近代』らしく、中国、フランス、日本と各分野の原稿が揃いました。

公僕と生まれざる身の幸不幸

右の川柳は、今月のある新聞に載っていたものです。国家予算の大赤字は、国民がハコモノ、道路、医療や福祉など、様々なサービスを国家に求めた結果ではないでしょうか。倒産の無い公僕に准じる身分の安定は確かにありますが、人減らしも進み、近年は多忙さにもますます拍車がかかってきました。同人の皆様におかれましては、少なくともった時間をやりくりして、これからも投稿をお願い致します。

二もとの梅に遅速を愛すかな

燕村

三月十二日記